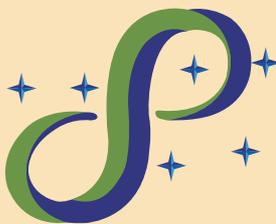


# Hino Memorial

# hospital

 創刊号

- 院長のご挨拶  
地域医療が最先端
- 第5期増改築について
- 新しいドクターのご紹介
- 副院長よりご挨拶
- 鶴飼事務長よりご挨拶



# 地域医療が最先端

## —地域に密着した日野記念病院—



日野記念病院  
院長 花澤 一芳

最初に、今年度より皆様のご支援により約2年間の予定で、日野記念病院の新棟増設及び改修工事を開始させていただくこととなりました。皆様には、色々とお迷惑おかけいたしますが、従来通り、全ての診療科で通常の診療をさせていただきます。

具体的には、放射線科の診断医療機器の新機種を導入いたします。青木副院長が当院に就任されました。画像読影の診断技術は県内、皆が認める屈指のご高名な放射線科医であり、肝臓治療や血管内カテーテルによる出血病変の止血においても専門的な知識、技術を有しておられます。

脊椎センターが高橋忍先生（理事）により新たに創設していただくことになりました。原先生と共に、すでに県内はもとより、県外より多数の患者を紹介いただき手術症例も激増いたしております。整形外科は山岡部長、天野先生が担当され（滋賀医科大学整形外科学講座）一層充実致しました。外科は県内の消化器外科医の誰もが認める内藤副院長、東田部長、土橋部長（ちなみに相馬理事長、小生も消化器、一般外科医であります）今年度新たに乳腺専門医（糸井先生）を迎え籾先生（乳腺外来）とともに、強力なスタッフ構成となりました。貴重な小児内科医も森部長を筆頭に常勤3名となり、東近江医療圏の小児疾患治療及び乳腺疾患の治療に多大に貢献できる体制となりました。内科は皆様ご周知の山田部長、循環器：地藤先生、内分泌・糖尿病：向瀬先生をはじめ、滋賀医科大学、京都大学の医局より多数の名医を派遣していただいております。

その他の診療科の先生方も紙面に限りがあるため次回の機関誌 Hino memorial hospital に掲載させていただくことと致します。

さて、地域病院の医師不足（都市集中）はまだ少なくとも3～5年は続くであります。地域病院に関しては医師の充足に関しては先が不透明であります。しかし幸いなことに皆様の日野記念病院は上記各大学との強力な連携により更に進化をとげ、地域より最先端の医療を提供致したいと考えております。当院は優秀な熱意のある先生の集合体であります。

県内は勿論日本においても、新しい地域病院のモデルとなるよう、地域住民の皆様と一緒に新しい日野記念病院を共創し、“地域に密着した病院”をコンセプトに、“将来設計”してまいります。皆様のご支援、ご理解に感謝申し上げ、初刊のご挨拶とさせていただきます。

# What's New

## 第5期増改築について

平成25年4月完成予定



正面玄関完成予定図

平成24年9月より、日野記念病院第5期増改築工事がいよいよ始まります。工事に伴い、完成するまでの期間は正面玄関が使用できなくなる為、仮出入り口を使用して頂くこととなります。

御迷惑をお掛けしますが御理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

尚、工事の経過については本誌にて逐次お知らせする予定です。

# 小児科 増田医師のご紹介

—平成24年7月より、小児科 増田医師が常勤として赴任されました—



初めまして。本年7月より森先生、柴田先生に加え、三人目の常勤医として日野記念病院、小児科に勤務しております、医師5年目の増田 俊樹と申します。私は高校卒業まで神奈川県で過ごし、滋賀医科大学合格を機に、大学より滋賀県に参りました。6年間の大学生活を終え、医師1年目を滋賀医科大学で、2～4年目を近江八幡市立総合医療センターにて勤務し、現職に就いた次第です。既に滋賀県で暮らして10年以上経過いたしましたでしたが、なかなか関西弁を喋る事が出来ず、苦勞しております。

中学時代より格闘技に興味があり、中学、高校の6年間は少林寺拳法部に所属しておりました。滋賀医科大学では少林寺拳法部がなかったため、大学よりは合気道部に所属いたしました。その後は合気道にはまり込み、現在も近所の道場にて稽古を続けております。一昨年に合気道部の後輩であった妻と結婚いたしました。披露宴でも演武をさせていただきました。

今回、日野記念病院に異動となるにあたり、より自分にとって一次救急の技術が必要となると認識しています。先輩医師の指導の下、診療技術の修得に努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ご挨拶

### 内藤副院長より



日野記念病院副院長の内藤弘之です。

私は1963年に大津日赤病院で生まれ、その後、大津市の小、中学校、高校で育ち、1987年に滋賀医科大学を卒業いたしました。生まれも育ちも滋賀県民です。滋賀医科大学卒業後は消化器外科医を志し修行してまいりました。1995年からは12年間、滋賀医科大学附属病院消化器外科医として勤務ののち2007年4月より、日野記念病院にお世話になっております。私が赴任したときは当院での年間手術件数は約900例でしたが、昨年度は約1200例になりました。みなさんをご存知かと思いますが、研修医制度改革により医学生が卒業後、都会志向となり、地方での医師不足が深刻な問題となっておりますが、日野記念病院も例外ではありません。そのなかで、何とか地域医療に貢献しようと、日野記念病院医師全員が、診療科の垣根を越えて協力し合っています。さらにより良い医療が提供できるよう、医師のみならず、看護師、技師、事務などと連携して頑張っていく所存であります。また今年度より乳腺外科を開設致しました。詳細はホームページ上の乳腺外科を参照して頂ければ幸いです。今後とも宜しくよろしくお願い申し上げます。

## 青木副院長より

平成22年10月より当院に勤務しております、放射線科の 青木 茂 と申します。

体幹部・乳腺の画像診断と、IVRと呼ばれる画像下の低侵襲の治療を、専門としております。

診断・IVRを主とする放射線科は、臨床の先生方には比較的存在価値が認められ、最近では市民権を得つつあるとは言え、市中病院では、まだまだ、病院全体としての理解度は低く、当院でも、私自身、ひと昔前の装置・体制での画像診断や、不十分な装置・体制でのIVRをこなす過程で、色々な所と衝突したり、葛藤の多い2年弱ではありました。

しかしながら、ある程度の病院のご理解もあり、昨年の10月にはフィルムレスのシステムが導入され、又、1～1.5年後には、病院改装に伴い、MRI装置・乳腺撮影装置・X線TV装置の更新、一般撮影装置の増設等が決定しており、放射線科自体のレイアウトも、現在よりも機能的に変わる予定で、より良い画像診断を提供する事が出来るようになりそうです。

患者様には、数少ない IVR の際以外は、私自身がお目にかかる事は、殆どありませんが、病気の正確な診断をささえる黒子的存在である事を、ご理解頂けると幸いです。又、近隣の診療所の先生方におかれましては、画像に関してのご相談事がありましたら、お気軽にご連絡頂ければ幸甚と考えておりますので、宜しくお願い致します。



## 鵜飼事務長より

事務長の鵜飼と申します。今、日本の医療は大きな曲がり角を迎えております。都市部と地方の医療格差をはじめ大病院への患者・医師の集中、地方における医師不足等私ども医療に携わる者を取り巻く環境は非常に厳しいものです。

そんな中、病院の理念であります「思いやりと感性にあふれた医療で患者様の信頼に応える病院」を目指して高度の医療機器を導入し、脊椎外科センターや消化器病センターを中心に様々な疾患に対応できるよう22の診療科目を標榜するとともに、他の医療機関との連携も密にし、質の高い医療を行うべく微力ではありますが地域の為に貢献できるよう努力して参ります。

### ★次回予告★

第2号 乳腺外科・形成外科／美容診療 特集



医療法人社団 昂会  
**日野記念病院**

〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田200-1  
Tel : 0748-53-1201(代) Fax : 0748-53-1583  
ホームページURL : <http://www.hino-hp.jp>

### 交通アクセス

#### 電車・バスで

- J R 近江八幡駅から、近江バス北畑口行きで日野高校前下車、徒歩5分(45分)
- J R 貴生川駅から近江鉄道に乗り換え日野駅下車、近江バス北畑口行きで日野高校前下車、徒歩5分(30分)  
近江鉄道日野駅からタクシーで5分

#### 自家用車で

- 名神八日市 I C より国道421御園信号307号右折、通り松尾北交差点を右折(20分)

